

平成 21 年 7 月 27 日

各位

会社名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 中富 博隆
本社所在地 佐賀県鳥栖市田代大官町 408 番地
(コード番号：4530 東京、大阪、名古屋、福岡)
問い合わせ先 執行役員 IR 室長 高尾 信一郎
(TEL 03-5293-1714)

第 4 期中期経営方針に関するお知らせ

当社は、このたび 2010 年 2 月期から 2014 年 2 月期までの中期経営方針を以下の通り作成しましたので、お知らせいたします。

I. 業績予想

5 カ年最終年度の業績予想（2014 年 2 月期）は、以下のとおりです。

<連結（単位：百万円）>

	2009.2	2014.2E※	CAGR
売上高	124,656	190,000	8.8%
営業利益	32,532	43,500	6.0%
経常利益	32,477	48,300	8.3%
当期純利益	19,120	29,000	8.7%

*業績予想には、現在未確定の買収にかかる費用、のれん代償却費、インプロセス R&D 費用等の費用は含めていません。

*Noven 社における 2013 年までの中期経営計画は現在ありません。Noven 社の損益は、複数の 2009 年度アナリスト予想を参考に平均を算出して使用しています。

II. 基本方針

上記の業績予想を達成するための基本方針ならびにその具体的対策は、以下の通りです。

1) 商品・営業の差別化強化

お客様のニーズにあった商品改良を継続していきます。医薬事業においては、MR を増員し、既存商品及び承認が見込まれる新商品の情報提供を強化していきます。薬粧事業においては、お客様に求められる既存商品の改良に加えて、新商品を継続的に上市し、ブランド力の向上を図っていきます。

- (1) モーラス群、モーラステープ群で第二世代外用鎮痛消炎剤の市場シェア 54%以上、売上 970 億円（純売上高ベース）を目指す。

- (2) HFT-290、BTDS の売上を合計 200 億円以上の商品に育成することを目指す。
- (3) 薬粧事業において、外用鎮痛消炎剤の市場シェア 40%以上、水虫薬の市場シェア 30%以上（店頭売価ベース）を目指す。

2) 国際競争力の獲得

海外医薬品市場で当社商品を上市することは、当社の経営理念である「世界の人々の QOL 向上を目指す」ことを実現する為に重要な意味を持ちます。当社が未開拓である広大な海外市場でのプレゼンスを向上し、海外売上比率 15%以上を目指していきます。

- (1) アジアで、新商品投入、新規国上市、販売体制の強化を実施する。
- (2) 米国で、開発中の医療用パイプラインの承認を取得し、販売を開始するとともに、OTC 販売の事業強化を実施する。

3) TDDS 研究開発の強化

当社の将来は、現在の研究開発にあります。研究開発は、スピードを上げて早く市場に送り出すことが使命となります。これを達成するために選択と集中を行ない、R&D テーマの進捗を促進します。

- (1) 日本・米国で臨床開発ノウハウを融合し、スピードを上げる。
- (2) 現在のパイプラインにおいて、承認・上市を 6 テーマ、PⅢ終了を 3 テーマ、PⅢ実施中を 1 テーマ、PⅡ実施中を 3 テーマとし、また、新規テーマの創出と臨床入りを目指す。

4) 株主還元策の継続

将来の戦略的投資を考慮し、長期的安定配当の実現と機動的な自己株取得を実施していきます。数値目標としては、現在の配当性向30%以上、連結ROE15%以上を維持していきます。

以上